

追悼のことば

沖縄県遺族連合会 仲宗根義尚

本日ここに県の主催により、沖縄全戦没者追悼式が挙行されるにあたり戦没者遺族を代表して謹んで哀悼の誠を捧げます。

沖縄戦の組織的戦闘が終結した六月二十三日が今年もめぐって参りました。

戦没者ご尊霊は、祖国の安泰と家族の行く末を案じつつ尊い生命を祖国のために捧げられたのであります。

私達戦没者遺族は、互いに助け合いながら英霊の慰霊顕彰と家運の再興、郷土復興のために一生懸命に努力して参りました。

我が国は、幾多の困難を乗り越え、目覚しい発展を遂げ、平和で豊かな生活を享受しております。

沖縄県も県民のたゆまぬ努力と国の温かい支援によって、めざましい発展を遂げ豊かな長寿県になりました。

これ偏に諸霊の尊い犠牲の上に築かれたものであることを決して忘れてはなりません。

本日、第50回記念事業の一環として「平和祈願慰霊大行進」を実施し、この追悼式に参列し、諸霊のご冥福と世界の恒久平和を念じております。

50年間も平和を訴えてまいりましたが国際社会における紛争が絶えず、最近中東においては、戦闘にまで発展しています。早急に平和的解決を訴えるものであります。

平和祈願行進ではなく、ご尊霊の尊い生命の礎の上に築かれた平和で豊かで安心・安全な生活を享受していることに対する感謝とその維持を願う行進になることを切望致します。

これまでも追悼式で基地の整理縮小を訴えてまいりました。現政府は、かつて普天間基地の移設を国外・県外と公約されましたが普天間基地移設を辺野古崎として日米合意され、菅直人総理も踏襲を明言されました。

県議会の決議や県民大会で県民の意思は明確に表明されておりますし、また戦争に繋がる如何なる行為も反対の観点から容認できません。

本日の追悼式に菅直人内閣総理大臣がご参列して下さいますことに感謝申し上げます。

小泉元総理は、在任中毎年靖国神社に参拝され、諸霊や遺族、国民から感謝されております。安倍・福田・麻生・鳩山各総理は、靖国神社の参拝をなさいませんでした。残念でなりません。

菅直人総理大臣は、早急に靖国神社を参拝され、感謝の誠を捧げられ、世界恒久平和を祈願して下さいますよう強くお願い申し上げます。

私どもは、戦争のない平和な国際社会を確立するために一層の精進、努力をして参ることをここにお誓い申し上げます。

沖縄県主催により、追悼式が継続されますよう、切望いたします。願わくば、限りないご加護を賜らんことを切にお願いするとともに、改めて諸霊のご冥福を心からお祈り申し上げて追悼のことばと致します。

安らかにお休みください。